

AUT-0023-2104

アウトボード

船外機用潤滑油

アウトボード（船外機）のエンジンは、全負荷、アイドリングの繰り返し運転であるため、きわめて過酷な潤滑状態になります。アウトボードは、厳選した鉱油系基油に低温清浄性に優れた無灰分散剤を添加した船外機用潤滑油で、船外機エンジンの焼付きを防止し、過酷な使用条件においてもエンジン性能を十分に引き出します。

●特長

- 2サイクル船外機のための専用オイルで、船外機の性能を十分に引き出します。
- トラブルの原因となる燃焼室内の汚れを抑えます。
- ピストンヘッド、およびシリンダーヘッドなどの沈積物が少ないので、これらの沈積物に起因するトラブル、例えば圧縮比の増加、ピストン過熱、表面着火による異常燃焼などを防止します。
- 過酷な長時間走行でも抜群の潤滑性能を発揮します。
- 船外機トラブルで最も大きいものは、航走中に点火プラグに燃焼生成物が多量に付着してブリッジができ、失火することです。アウトボード (SAE20)は、点火プラグ汚すことがありませんから、失火を防止し、同時にプラグの寿命も大幅に延ばします。
- アウトボードエンジンにおいては、使用条件から水分の混入は避けられず、また、これが吹き抜けガス中の酸化物とあいまって、ベアリングの腐食が問題となることがあります。アウトボード (SAE20)では、この点でも全く問題のないことが確認されています。
- 混合潤滑方式（予めガソリンとオイルを混合）で使用する場合には、ガソリン/オイルの混合比は25～30/1を推奨します。

●荷姿

200lドラム、20lペール缶、4l×6缶、1l×20缶

●アウトボードの代表性状



| SAE粘度分類 | | | 20 |
|-------------|--------------------|--------------------|-------|
| 色 (ASTM) | | | L1.5 |
| 密度 (15℃) | g/cm ³ | | 0.880 |
| 動粘度 (40℃) | mm ² /s | | 57.0 |
| | (100℃) | mm ² /s | 8.45 |
| 粘度指数 | | | 120 |
| 引火点 (COC法) | ℃ | | 150 |
| 流動点 | ℃ | | -35 |
| 酸価 | mgKOH/g | | 0.91 |
| 塩基価 (D2896) | mgKOH/g | | 6.7 |
| 硫酸灰分 | mass % | | 0.0 |
| 元素、N | mass % | | 0.42 |

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変わる場合があります。(2018年3月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

| | |
|------------|--|
| 成分： | 潤滑油基油、潤滑油添加剤 |
| 絵表示： |   |
| 注意喚起語： | 警告 |
| 危険有害性情報： | 皮膚刺激 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い 水生生物に有害 |
| 注意書き： 安全対策 | <ul style="list-style-type: none">・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。・眼に入れないこと。飲み込まないこと。・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。・取り扱い後はよく手を洗うこと。・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 |
| 応急措置 | <ul style="list-style-type: none">・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理にはかせないこと。・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。・環境への放出を避けること。・汚染された衣類を脱ぐこと。・皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。 |
| 保管 廃棄 | <ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。・内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則にしたがって廃棄すること。・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。 |